

## 市川市史執筆要項（案）

平成 年 月 日 決定

この要項は、市川市が発行する市川市史を執筆するにあたり、必要な事項を定めるものである。

## 1．基本原則

「市川市史編さん基本方針」および「市川市史編さん基本計画」に則り、執筆すること。

## 2．文章表記

(1) 文体は平易な口語体とし、「である」調とする。

(2) 本文は原則として常用漢字を使用し、現代かな遣いによること。ただし、固有名詞はこの限りではない。

(3) 年号は西暦とし、特に必要な場合は、西暦と元号の併記とする。

例) 2012 (平成 24) 年

(4) 原則、注釈注は付けない。引用注の場合は、本文中に表記すること。

例) 『国分小学校学校沿革誌』の 1900 (明治 32 年) 10 月 20 日の条には、...中略...という記述がある。

例) 小岩・市川関所を含むこれらの関所は、...中略...位置付けられていた(「諸国御関所覚書」)。

(5) 引用、参考文献は巻末にまとめて記載する。

## 3．既存の出版公表物等からの転載

執筆者は、既存の出版公表物等から写真・図版類を転載する場合は、下記の手順により、その許諾を得ること。

(1) 指定様式(様式 1)を映像文化センターへ提出すること。映像文化センターは、提出された様式の記載事項に基づき、転載にかかる版元の許諾を得ることとする。

(2) 映像文化センターが版元の許諾を得た後、執筆者は、指定様式(様式 2)により原作者の許諾を得ることとする。

ただし、市川考古博物館・市川歴史博物館・市川自然博物館の所蔵資料、または本市所蔵資料を用いる場合はこの限りではないため、映像文化センターへ連絡すること。

## 4．協力機関・協力者の表記

協力機関および協力者については、巻末に一覧を掲載する。

協力機関および協力者がある場合は、本文中に謝辞等を記載せず、機関名・氏名の一覧を映像文化センターに提出すること。

## 5．原稿の提出

(1) 提出方法

原稿は、文字・写真・図版のいずれについても、原則、電子データとする。

締切日までに、印字した原稿、ファイルデータを記録したメディア、図版のすべてを提

出すること。なお、転載資料がある場合は、様式 1 をあわせて提出すること。

## ( 2 ) 提出先

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 1-1-4 市川市生涯学習センター2 階  
市川市映像文化センター 市史編さん事業担当

## 6 . 原稿の取り扱い

原稿提出後、巻ごとに調査編集委員による編集作業を行う。調査編集委員は、巻全体の統一性および市川市史全巻における当該巻の位置づけ等を考慮し、原稿内容の確認、調整、表記の統一等を行う。また、この過程において、執筆者に原稿の修正等を依頼する場合がある。

## 7 . 校正

制作業者に入稿後の校正は、少なくとも初校は執筆者が行うが、最終校正は調査編集委員が行う。

## 8 . 著作権

執筆者は、市川市史への掲載を目的に作成した著作物にかかる著作権（財産権）について、著作権法第 21 条から第 28 条に規定する著作者の権利（著作権法第 27 条及び第 28 条の権利を含む）のうち執筆者に帰属するものを、市川市に譲渡することとする。また、著作人格権について、執筆者は、下記の制限を受けることを承諾するものとする。

- ( 1 ) 市川市が、市川市史または市川市史を利用して完成させたものを公表することを妨げず、また、事前に市川市の承諾又は合意を得ることなく、市川市史または市川市史を利用して完成させたものの内容を公表できない。ただし、市川市は、研究成果の公表という執筆者の社会的使命を尊重し、正当な理由なく、執筆者の希望する公表の時期及び内容を遅延させ又は制限しない。
- ( 2 ) 市川市が、市川市史または市川市史を利用して完成させたものの内容を維持、運営、管理、広報等のために必要な範囲内で改変することを許諾する。また、市川市が、市川市史または市川市史を利用して完成させたものを写真、模型、絵画その他の媒体により表現することを許諾する。
- ( 3 ) 市川市が、市川市史または市川市史を利用して完成させたものを公表するときに、執筆者の名前を表示しないことを許諾する。ただし、市川市は、市川市史を発行する際には、執筆者名を明らかにする。
- ( 4 ) 市川市が著作権を行使する場合において、執筆者は、著作権法第 19 条第 1 項又は第 20 条第 1 項に規定する権利を行使しないことを承諾する。

## 9 . その他

各巻の内容、構成、執筆にあたっての留意点、表記等の統一化の目安を図るために必要となる事項など、この要項に定めのない事項については、巻ごとの執筆細則に定めることとする。

### 【問い合わせ先】

市川市文化国際部映像文化センター市史編さん事業担当  
電話 047-320-3334 月曜日（祝日の場合は翌平日）休館

( 様式 1 )

平成 年 月 日

市川市長

氏 名 \_\_\_\_\_  
住 所 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_  
メールアドレス \_\_\_\_\_

写真・図版類の転載について(依頼)

市川市史の編さんにかかる原稿の執筆について、下記出版公表物の一部を転載いたしたく、版元への申請を依頼します。

記

1. 出版公表物の名称

2. 編著者

3. 該当箇所

( 1 ) 該当頁

( 2 ) 行および番号等

使用希望箇所を示した該当頁および奥付のコピーをご提出ください

4. 発行者

( 1 ) 発行者名

( 2 ) 住 所 〒

5. 出版社名

( 1 ) 出版社名

( 2 ) 住 所 〒

(様式2)

平成 年 月 日

様

写真・図版類の御著書よりの転載について(依頼)

拝啓

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、私は市川市より市川市史の原稿執筆を依頼されました。

つきましては、同書に、 様の御著書の一部を下記のとおり転載させていただきたく、ご承諾くださいますようお願い申し上げます。版元の承諾はすでに得ております。

なお、転載に際しましては、出典を明示いたします。

ご多用中のところ大変恐縮ではございますが、同封の葉書にてご返信いただければ幸いです。

敬具

執筆者氏名

印

記

1. 転載先

(1) 名 称

(2) 刊 行 年 月 刊行予定

2. 転載元

(1) 出版公表物名

(2) 刊行年月日

(3) 編著者名

(4) 該当箇所

該当頁:

行および番号等:

(5) 発行者名

(6) 出版者名